

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	みなみいせ 南伊勢	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	三重県	対象市町村	まつさか 松阪市ほか10市町
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は三重県の中央部に位置し、その面積は228千haと県土面積の39.5%を占めてしている。</p> <p>本地区を構成する市町は4市7町で、北は北伊勢森林計画区の津市に、西は台高山脈を隔てて奈良県に、南西は台高山脈の支脈を境に尾鷲熊野森林計画区の紀北町にそれぞれ接し、南東は熊野灘に、北東から東にかけては伊勢湾に面している。また、大規模マーケットである大阪、名古屋から直線距離で100km前後の位置にある。</p> <p>民有林の人工林の齢級別構成は、Ⅻ齢級が最も多くⅩⅠ齢級以上の人工林面積が73.8%を占めており、偏った齢級構成となっている。</p> <p>また、山村地域の過疎化、林業就業者の高齢化、木材価格の低迷、経営コストの増大等から林業経営を取り巻く環境は悪化<small>かん</small>しており、適正な管理がなされない森林が増加している。</p> <p>このため、本事業では、水源涵養、土砂流出防止等の森林の公益的機能の維持増進のための間伐等の森林施業や、森林資源の循環利用のための主伐再造林や獣害防護柵の整備、それらに必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,166ha 人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：621m 林道開設</p> <p>総事業費：1,251,493千円(税抜き1,158,790千円)</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 6.90 (総便益(B) = 12,086,138千円、総費用(C) = 1,752,052千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養、土砂流出防止等の森林の公益的機能の維持増進のため適切な森林管理が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林施業を行うことで、木材生産、水源涵養<small>かん</small>、土砂流出防止等の森林の公益的機能の維持増進を図るための事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

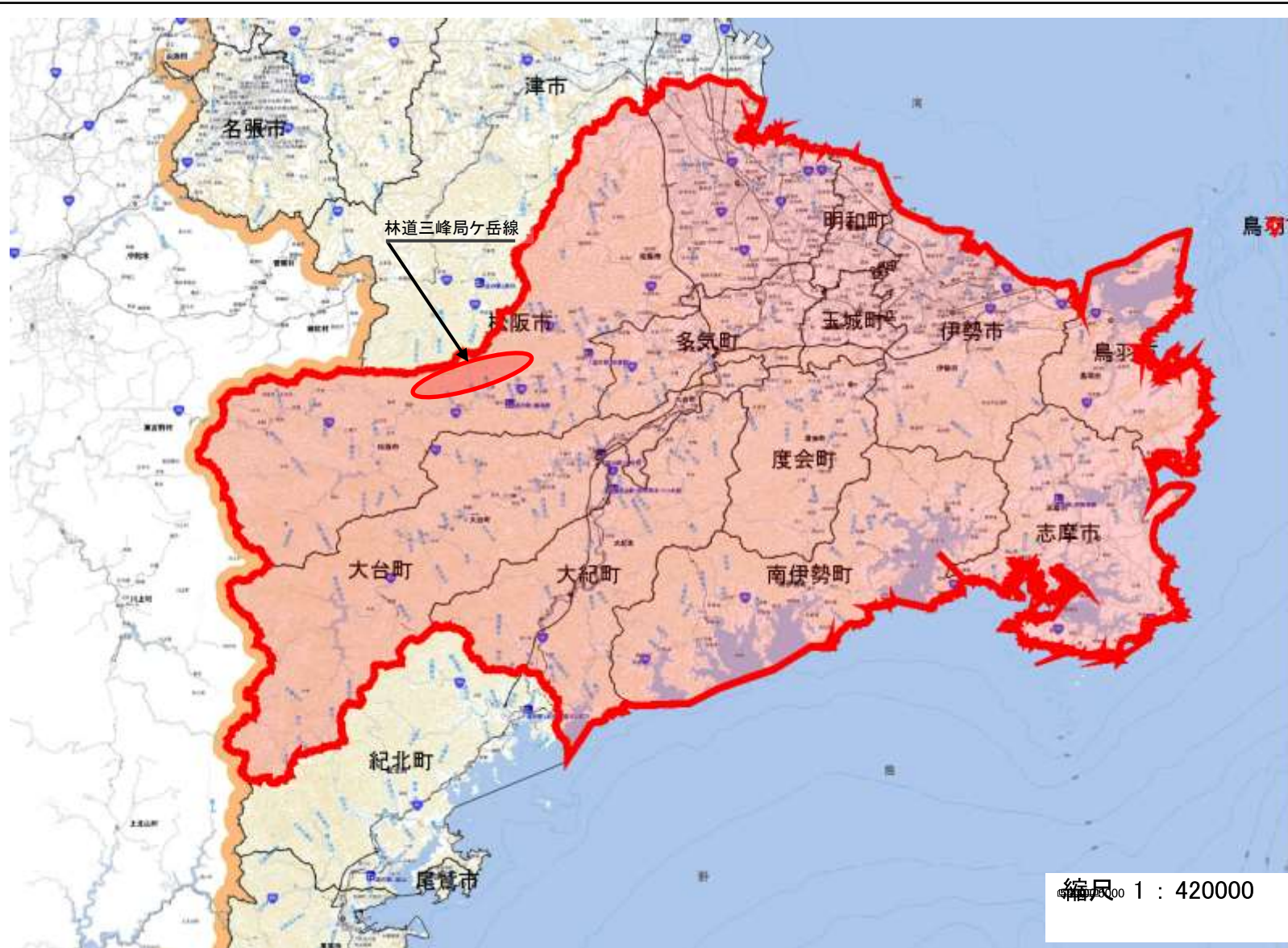
都道府県名: 三重県

地域(地区)名: 南伊勢^{みなみいせ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,761,871	
	流域貯水便益	661,860	
	水質浄化便益	1,503,078	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,651,954	
環境保全便益	炭素固定便益	1,286,733	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	2,235	
	木材利用増進便益	8,586	
	木材生産確保・増進便益	3,738,775	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	457,523	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	13,523	
総 便 益 (B)		12,086,138	
総 費 用 (C)		1,752,052	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,086,138}{1,752,052} = 6.90$		

森林環境保全整備事業 南伊勢地域(三重県)



縮尺 1 : 420000

凡例	
計画区域界、事業区域	
市町村界	

